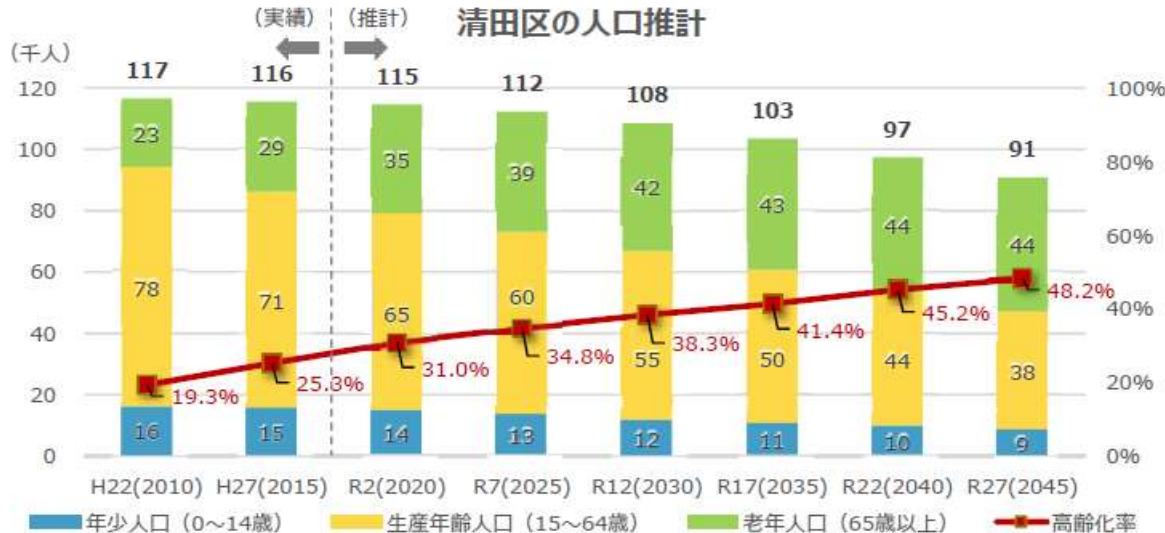


2.いつの間にか健康になるまちづくり



清田区の高齢化の状況

- ✓ 清田区の総人口は2015年には既に緩やかに減少を始めており、今後減少傾向がより強くなると予測されている。
- ✓ 高齢化率の上昇はすでに始まっているが、今後も上昇を続けて2045年には48.2%と人口の約半数が65歳以上となると予測されている。
- ✓ これらを札幌市全体と比較するといずれも清田区の方が顕著に傾向が表れている。
- ✓ 清田区においては高齢化に対応したまちづくり、健康増進は大きな課題だと考えられる。



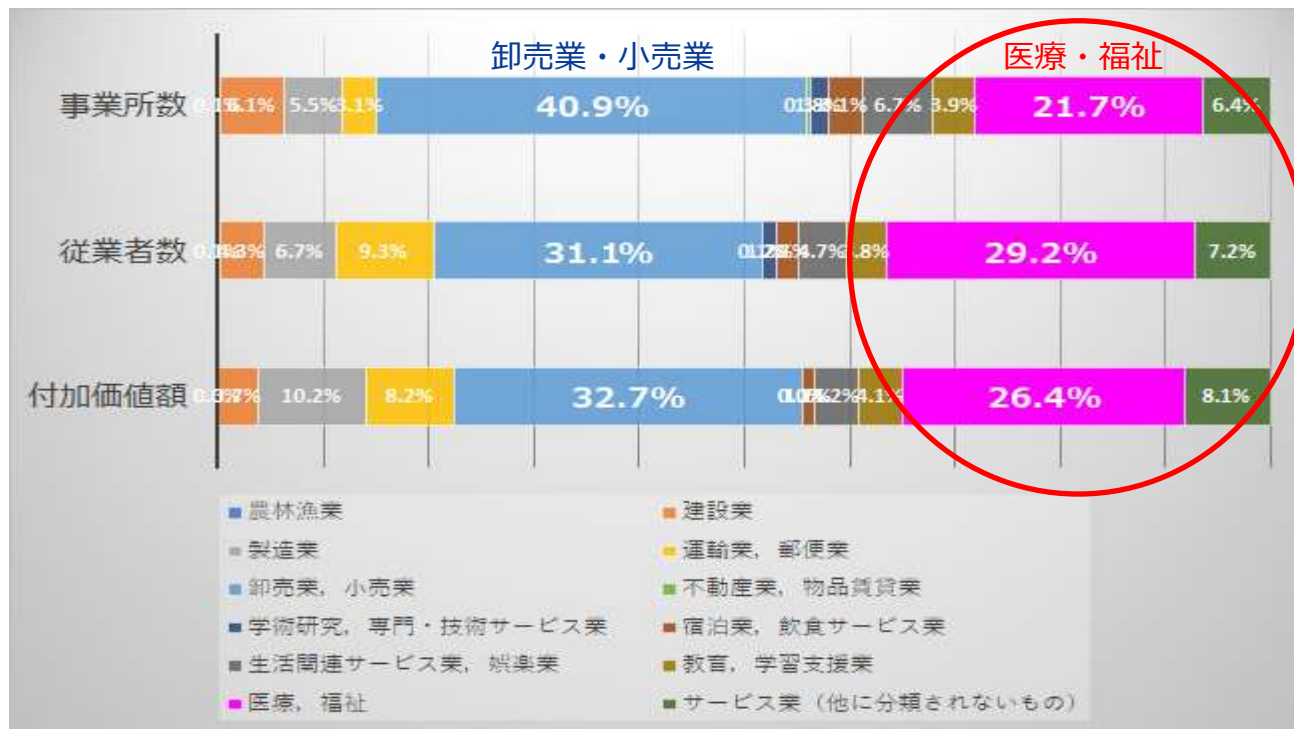
【出展】国勢調査 日本の地域別将来推計人口 (平成30年推計)



医療・福祉は清田区の主要産業

- ✓ 清田区の産業分類別の統計をみると、**医療・福祉業**は事業所数、従業者数、付加価値額のいずれも卸売業・小売業と並んで**大きな割合を占めている**。
- ✓ 医療・福祉は清田区にとって**重要産業**であり、これらを**地域資源としてとらえていく視点**も考えられる。

清田区における産業分類別の事業所数・従業者数・付加価値額の割合



①きよたウォーキングポイント

- ✓ 清田区に立地している企業等に協賛いただき区民の健康増進を目的としたポイントを運用するしくみ
- ✓ 第1バージョンではスマートフォンアプリで（可能な場合は協賛企業が運用しているアプリを活用する。）
- ✓ 第2バージョンでは歩数計等も利用可能にして参加者層を広げる。
- ✓ 第3バージョンでは歩行以外の活動も対象にした「ヘルスケアポイント」にする

第2バージョン
歩数計でポイント取得



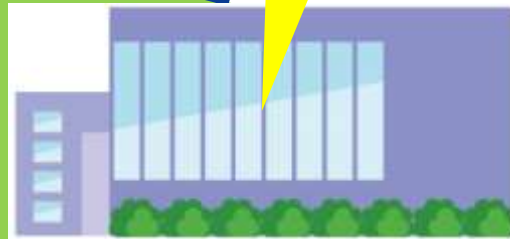
第1バージョン
スマホアプリでポイント取得



ポイントは地域通貨に変換して利用可能



第3バージョン
歩行以外の活動も対象に拡張



体育館→
健康教室

②まちに埋め込まれた健康トラップづくり

- ✓ クルマ利用が支配的な清田区での**生活シーンの中に歩く機会を増やす**ことは、区民の健康増進にあたって有用なことだと考えられる
- ✓ しかし、ウォーキングイベントやスポーツ教室等を通じた普及だけでは対象層が限定され、いわゆる**健康無関心層や関心はあるもののアクションまでには至らない層**にはリーチができない
- ✓ そこで、**日常生活空間の中で自然と楽しく歩くことが促される仕掛け**（健康トラップ）を区内各所につくっていく
- ✓ 具体的には**区民参加型のワークショップ**等で**アイデア出し**をし、官民連携でその実現を推進する

(1)プリサーベイ

- ✓ 健康トラップの概念と関係システムの整理
- ✓ 健康トラップの事例調査



(2)-1アイデア出しワークショップ

- ✓ どんなどころにどんな仕掛けがよいかのディスカッションを様々な区民が参加して行う
- ✓ 土木センター、まちづくり推進係等がオブザーバー参加

(2)-2アイデア出しWebイベント

- ✓ どんなどころにどんな仕掛けがよいかのアイデアをWebやSNS上で募る



(3)企画・設計・実施

- ✓ 有望アイデアの実現形を検討し、基本構想を作成する
- ✓ 仕掛けの設置場所の地権者等と調整する
- ✓ 承認を受けた場所について設計を行う
- ✓ 予算作成、資金調達、諸手続きを行った上で工事を行う
- ✓ できた仕掛けを様々なメディアを活用して周知する

③身近な農への参加による健康力UP

- ✓ 農空間で作業等を行って過ごすことは、**心身にとって好影響がある**ことが科学的にも検証されている。
- ✓ 清田区内には大規模市民農園があり、区民が農を楽しんでいる。また、庭で菜園をやっている戸建て住宅も多い。
- ✓ しかし、**自分で畑を準備して農に触れるまでではない**あるいは集合住宅等で**準備ができないが、興味は持っている層**も一定数存在していると考えられる。
- ✓ こうした人たちが**自宅近くで気軽に農に触れる空間**を準備して、各人のニーズに応じて利用できるように運営する。
- ✓ 具体的には**公園や学校、遊休民地、公共機関の敷地**等で小規模な菜園を整備し、清田区内に多くいると想定される**農ボランティアが運用**する。
- ✓ 収穫物は作業者の持ち帰り、区内医療・福祉機関・店舗への提供の他に、**フリー食材**として食物困窮者、フードバンク、こども食堂に提供する。
- ✓ また、「市民農園」では満足できないハイレベルな層向けには**区内農家への援農**のしくみを提供する。

ハイレベル
志向の人は
区内農園への援農



公園の一角に菜園

校庭の一角に菜園

収穫物は**区内の医療・福祉機関や店舗**へ

一部は**区内のフードバンク・こども食堂等**へ



④きよたシードルづくりで健康力UP

- ✓ 札幌市はかつてのリンゴ産地として知られるが、**平岡地区はその一翼を担っていた**。現在では平岡わんぱく公園にその残滓であるリンゴの木が植樹されている。
- ✓ かつてのリンゴ農園跡地等の民間空地や未利用の公共用地等にシードル用リンゴを植えて、**元リンゴ農家の指導の下で区民参加型で栽培**を行う。
- ✓ できたリンゴで札幌市内等の醸造所に委託して**シードルを製造**し、区民や清田区への来訪者で楽しむ。

リンゴ農園跡地等を利用して
リンゴを栽培



かつてのリンゴ
農家が指導



札幌市内等の醸造所に委託
してシードルを製造



区民や清田区への来訪者で
楽しむ



資金は区民&来訪者出資のクラウドファンディングの活用等を検討

⑤ パラスポーツを楽しみながら健康力UP

- ✓ パラスポーツは障がい者だけでなく高齢者や従来型のスポーツが苦手な層の運動促進にも有効（ソフトスポーツとしての側面、例：ボッチャ）
- ✓ また、新たな魅力のあるハードスポーツもある（例：車いすバスケット、車いすラグビー）
- ✓ 公的スポーツ施設、学校、民間スポーツ施設etc.と協働してこれらパラスポーツへの参加機会を増やしていく

